

平成23年4月26日

宮城県気仙沼市立本吉病院の今後の運営について

日時：平成23年4月26日14時40分～16時

場所：気仙沼市立本吉病院ナースセンター室

メンバー：宮城県：保健福祉部医療整備課 大内医療政策専門監

気仙沼市：千田本吉地区自治区長

気仙沼市立本吉病院：鈴木管理課長、看護師長

国診協：青沼副会長、佐々木涌谷医療福祉センター副所長、
米田事務局長

目的：気仙沼市立本吉病院の今後の運営方針の確認

打合せ概要

国診協

- 5月1日より一カ月の間、国診協と全自病協が国保直診の仲間として責任をもって本吉病院をサポートしていく、その間に本吉病院を今後どのようにするか、気仙沼市としての方針を決定してほしい。
- 今までどおり国保直診とし地域包括医療を実施していくことが、住民にとっては幸せなことと考える。
- 気仙沼市立病院との連携も考慮して、今後の運営を考慮してはどうか。
- 可能な限りにおいて、応援医師の環境整備をお願いしたい。
- このたびの支援にあたり、気仙沼市からの支援要請書の発出をお願いしたい。

(印象として、早期の結論をお願いしたが、6月中旬までの支援要請があるかもしれない。)

気仙沼市

- 気仙沼市長は、この地区は今後も無医地区にしないという方針である。
- 今後の運営は病院か診療所か、また、運営形態についても未定である。
- DMA T支援で徳洲会が支援してくれているが、当初4月中には常勤医師の確保をどうにかしたいと考えていたが実現できなかった。
- 38床の病院で医師3名、診療所で医師1名いる、市として5月中には早急に結論を出したい。

宮城県

- 当初の認識として、本吉病院は保険診療（院長の確保）をスタートしても院長一人では大変であり、しばらくの間、医師のサポートが必要と考えていた。5月の一カ月はすぐに経過する、早急に方針を決定し常勤医師の確保をしていただきたい。

本吉病院

- 住民（患者）は地元でみてほしいと思っており、気仙沼市までは遠く、退院後も訪問看護ができる本吉病院が在宅医療の拠点と考えている。
- 本吉病院は、平成21年度まで十数年間、累積で黒字運営をしてきた、旧本吉町の方針として繰入金を入れても赤字をださない方針で取組んできた。
- 施設等の状況は、レントゲン（ポータブル）1台、エコーは連休明けレンタルで入る予定、内視鏡なし、検査は外注している。
- 土曜日は午前中のみ診療・日曜日は原則休診とし急患のみの対応である。最近の疾患は、ノロの患者、気管支炎の患者が増えており、全体的には慢性期患者が中心である。
- 派遣された医師方には、病院は断水しており、風呂は自衛隊が仮設している風呂（病院から2～3分）を使用、食事は配給食でお願いしている。寝具はそろっている。